

平成24年1月17日

踏切と～まれ！ 『厳寒季の踏切事故防止キャンペーン』を行います！

JR北海道では、1月20日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図り、安全・安定輸送を確保するため、「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

踏切事故は、本年度10件発生しており、そのうち3件が12月に発生しています。

また平成22年1月29日に函館線深川～妹背牛間の深川6号線踏切で発生した事故では、42名のお客様が負傷されております。このように踏切事故は一度発生すると列車運休などの大きな輸送障害となるばかりでなく、ひいては悲惨な死傷事故にもつながります。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、道路はますます滑りやすい危険な状態になることが想定されます。

そこで「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、社員による踏切・駅頭での啓発活動などを通して「踏切手前での確実な一旦停止」「早めのブレーキとスピードダウン」など、踏切での安全通行をドライバーに呼びかけるとともに、道路管理者に対して踏切前後の早め除雪と踏切手前でのスリップ防止対策の強化を要請していきます。



【啓発活動風景】



【啓発活動風景】

■実施期間

平成24年1月20日（金）から1月30日（月）までの11日間

■実施内容

- ・ テレビ、ラジオCMによる踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 踏切、駅頭等でのパンフレット、ポケットティッシュ配布による啓発活動
- ・ 主要駅、列車内での放送案内による協力要請
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置による協力要請
- ・ 関係機関・企業及び各団体等への啓発依頼

<今年度冬期に発生した踏切事故>

1月12日現在3件発生しています。そのうち自動車と衝撃した事故は次に示す2件でした。

- ・ 12月8日、江差線 吉堀～神明駅間の加藤踏切で、踏切無視で進入した乗用車に列車が衝撃
- ・ 12月22日、石北本線 端野～愛し野駅間の東12号線踏切で、しゃ断桿を突破した乗用車に列車が衝撃

《参考》踏切事故防止PR活動